

審判に関する注意事項

- (1) 審判は、自分の信念で判定(ジャッジ)を行って下さい。
選手からのアピールを受けて判定を変えてはいけません。

また、主審は、選手からのアピールがあっても、決して審判台を降りてはいけません。
ボールマークを確認する必要はありません。選手はボールマークの確認を要求できません。
- (2) 選手は、自分で勝手に判定してはいけません。
審判の判定より前にセルフジャッジを行ってはいけません。
必ず、審判の判定にしたがって下さい。
- (3) 審判は、アウト・フォルトの判定およびカウントのコールを大きな声で行って下さい。
選手は、必ず審判のコールとポイントの確認してから次のプレーを行って下さい。
- (4) 審判は、選手の態度(セルフジャッジを行う・判定にクレームをつける等)に問題があると判断した場合には、コートレフェリーを呼んで下さい。
- (5) 選手は、審判のジャッジや相手選手の姿勢・態度等に問題があると思った場合には、その旨を審判に告げて、コートレフェリーを呼ぶことができます。
- (6) 大会に参加する選手は、必ず審判の練習を行い、正確に行えるようにして下さい。

令和2年 2月21日
群馬県高体連テニス専門部